

最近の金融・資本市場制度の整備、改善への取組み状況等の概要

「金融・資本市場競争力強化プラン」(平成19年12月)

○競争力強化の必要性

- ・少子高齢化が進展する中、我が国経済の持続的な成長の為に、家計部門の金融資産への適切な投資機会の提供や、内外の企業等への適切な成長資金の供給が必要
- ・国際的な市場間取引が一層激化する中、我が国市場の競争力の強化が課題
- ・金融サービス業が高い付加価値を生み出す産業として日本経済への貢献を期待

○「金融・資本市場競争力強化プラン」の柱

- 金融・資本市場の信頼と活力
- 金融サービス業の活力と競争を促すビジネス環境
- より良い規制環境(ベター・レギュレーション)
- 市場をめぐる周辺環境

市場競争力の強化の為に施策の推進

●金融商品取引法改正(平成20年)

- ・ETFの多様化
- ・プロ向け市場の創設 等

リーマンショック
(平成20年9月)

●市場安定化等の為に緊急的な措置

- ・空売り規制の強化
- ・銀行等保有株式取得機構の活用
- ・改正金融機能強化法の活用 等

金融審議会基本問題懇談会報告(平成21年12月)

一方で、我が国金融システム及び金融業には課題も...

○金融システムの課題

- ・経済の持続的成長への寄与・国民の資産形成への貢献
- ・我が国金融・資本市場の国際的な競争力強化等

○金融業の課題

- ・企業の価値創造を支援する金融の指向等

○市場発の金融危機への対応の為に方策

- 危機の要因となりうる不均衡の蓄積を予防するための方策(非規制分野への適切な規制等)
- 危機の伝播を抑制するための方策(市場インフラの再構築等)
- マクロ健全性の観点からの規制・監督の充実(中銀との連携強化等)
- 実体経済への波及に対応するための方策(中小企業を含めた企業金融の円滑化等)

「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ」

(平成22年6月):

7つの戦略分野の一つとして「金融戦略」を位置付け

金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン～新成長戦略の実現に向けて～

(平成22年12月)

○金融の役割

- ・実体経済を支えること
- ・金融自身が成長産業として経済をリードすること

○アクションプランの3本柱

- 企業等の規模・成長段階に応じた適切な資金供給
- アジアと日本とをつなぐ金融
- 国民が資産を安心して有効に活用できる環境整備

●金融商品取引法改正(平成22年)

- ・店頭デリバティブ取引等に関する清算機関の利用の義務付け 等

我が国金融業の中長期的な在り方